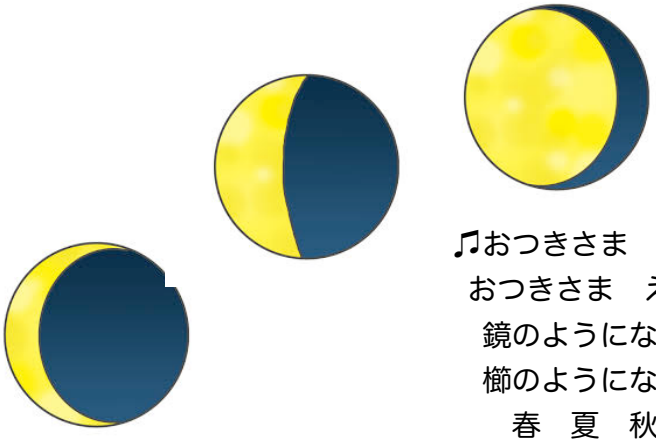
おやこであそぼう

絵本と、わらべうたの時間
2019年 9月18日

☆～　今月のうた　～☆



♫おつきさま　えらいの
おつきさま　えらいの
鏡のようになったり
櫛のようになったり
春　夏　秋　冬
日本じゅうをてらす

♫だーんだーん　のぼって
だーんだーん　のぼって　あたまさ　まいって
だーんだーん　おりて　まつばら　こえて
めいしゃによって　はないっぽんおって
ほーたにしかられて
くちおしゅうないか　むねんなことや
しりもせんくせに　おへそがわらう

♫おてぶし　てぶし
おてぶし　てぶし　てぶしのなかに
へびのなまやけ　かえるのさしみ
いっちょばこやるから　まるめておくれ
いーや

次回は
2019年 10月16日（水）

☆～　今月の絵本と紙芝居　～☆

＊紙芝居　ぴったんこってきもちいいね（童心社）作：田村忠夫／絵：土田義晴
＊ママのて（こぐま社）作・絵：やまもとゆうこ
＊みーせーて（アリス館）作・絵：スギヤマカナヨ
＊さぁ、てをだしてアリス館）作・絵：スギヤマカナヨ
＊おててつなごう（福音館書店）作：安江リエ／絵：西巻茅子
＊おにぎり（福音館書店）作：平山英三／絵：平山和子
＊むすんだそのてをひらいてみせて（福音館書店）作・絵：安倍賢司
＊おつきさまのうた（岩崎書店）作・絵：なかじまかおり
＊おつきさま　すーやすや（福音館書店）作・絵：青島左門
＊おつきさま　ひとつずつ（童心社）作・絵：長野ヒデ子
＊おはなしのろうそく（東京子ども図書館）・・・「お月さまの話」素話

☆～　お月さまのこと　～☆

あの「チコちゃんに叱られる」でも、十五夜に因んで、うさぎのことが話題になっていましたが、お月さまにまつわるお話は、世界中にたくさんあると思います。絵本も海外はもちろん、日本の絵本がたくさんあります。

お月さまは、どうして形がかわるの？、どうして、どんどん歩いてもついてくるの？、どうしたら届くの？、などなど子どもたちの素朴な疑問が素敵なお話になっています。

「お月さまの話」という ブルガリアの昔話があります。ある湖のほとりに、二人のおばあさんが住んでいました。一人のおばあさんが、ある夜、お月さまがやせてしまったのを気の毒に思って、自分の家に招いてごごちそうします。お月さまは湖の上をわたって、その親切なおばあさんのお家に毎晩、通ったので、だんだん太っていきます。それを見ていた、ちょっとけちなおばあさんも、お月さまに、自分の家にもきてほしい、と言います。

お月さまは、けちなおばあさんの家にも通いましたが、けちなおばあさんは、少ししかごちそうしなかったので、お月さまは、だんだんやせてきてしまった、というお話です。お月さまの満ち欠けのことだけでなく、湖の上を金色に輝きながらお月さまがおりてくる、その光景を想像するだけで、美しいお話です。

昨今、お月さまも、それほど遠い存在ではなくなり、想像力もそがれることが多いのですが、やはり、大人になっても、科学が進んでも、夢と想像力は持ち続けたいですし、子どもたちにも、持ち続けてほしいなあと思います。

お問い合わせ
クリスト・ロア修道会
TEL０４２（４６５）８６２０